



Rally 三河湾 2026

Driver: TAKUMI IWAHORI
Team: 一六RACING

Co-driver: TAKAHIRO AIBARA
Car: GR YARIS

Date: 2026/2/27~3/1

開催地：愛知県蒲郡市・岡崎市・西尾市・幸田町

路面：ターマック

コースの総距離：246.56km

総SS距離：73.12km

SS数：16

ラリー三河湾は、蒲郡市・岡崎市・西尾市・幸田町を舞台に開催される全日本ラリー選手権の開幕戦です。海沿いのスピード感あるステージから、テクニカルな山間部まで、多彩なコースが特徴です

開幕戦のラリー三河湾には、2025年の最終戦でMCC初勝利を飾った最上佳樹選手、2025年シーズン最優秀女性ドライバー賞を獲得した兼松由奈選手をはじめ14名がエントリーしました。2024年のJN-2クラスチャンピオン獲得経験を持つ三枝聖弥選手が初参戦を果たし、長尾綱也選手、松原周勢選手、平川真子選手、米林慶晃選手、岩堀巧選手、奥井優介選手、山口航平選手、HARU選手、及川紗利亚選手、伊藤はづき選手、今橋彩佳選手ら、様々なキャリアやバックグラウンドをもつ選手が、その腕を競います。(引用)



DAY1

SS1 47:00 (+4.0)

パイロンタッチによる5秒のペナルティがありました。グラベルの感覚が掴めず、ステージ全体を通してタイムロスが大きかったです。ブレーキングポイントが早かったことでクリップまでに速度が足りず、車の動きがギクシャクしてしまいました。パイロンタッチのペナルティも加算され、この短いステージでトップから10秒も離されてしまいました。

SS2 7:30.4 (+14.3)

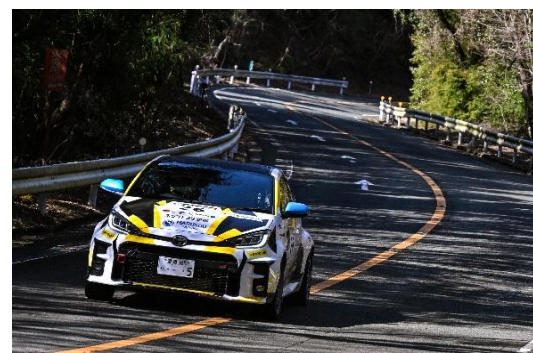
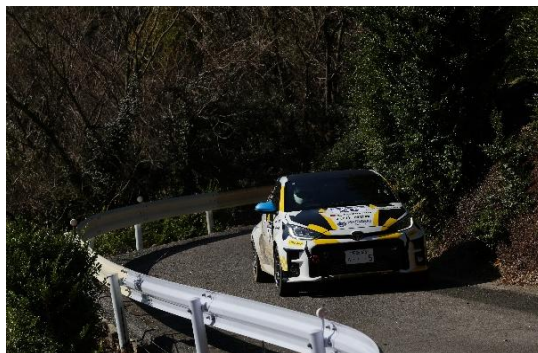
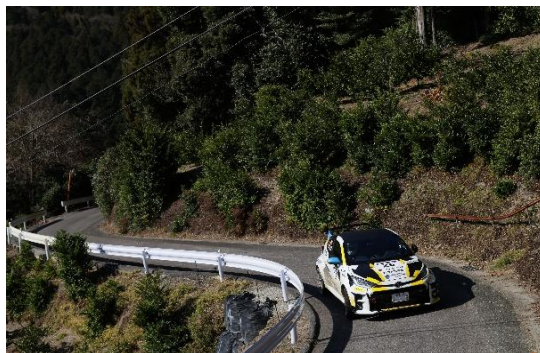
ステージ前半でブレーキングが早かったです。タイト2Rタイトウン程度のコーナーで本来は1速に落とすべきところを2速で進入してしまい、立ち上がりもたつきました。4程度のコーナーでもスピードを落としすぎています。ブレーキとアクセルの同時踏みによる失速が数回起きました。3~4秒ほどアクセルとブレーキを同時に踏むと失速する制御が入ります。

ショーティッシュ2のコーナーも手前でスピードを落としすぎっていました。過去に同じコースを走っておりコースをすべて覚えていることから、ペースノートがなくても走れるという意識があり、ドライビングに集中しすぎてペースノートを十分に聞けていませんでした。全開でいけるところでも減速してしまっています。少し長いストレートからの3~4程度のコーナーでもブレーキが早く、減速しすぎっていました。2のコーナーも同様です。やや長いストレートからのコーナーが課題です。

SS3 5:42.2 (+5.7)

スタートミスがあり、回転数が落ち込んでいました。進入時のブレーキングの踏力が弱く、ブレーキが長くなっていました。もう少し突っ込んで強くブレーキを踏み、しっかり減速した方が良かったです。ショーティッシュ2程度のコーナーで2速に落とすところを3速のまま抜けてしまい、加速が鈍くなりました。5Rのコーナーでも減速しすぎっていました。

3Lロングのコーナーの走り方も課題です。グレーチングやバンプをペースノートに入れていなかったため、跳ねる予測ができていませんでした。2車線道路のハイスピード区間では慣れていないためか、全体的にブレーキが早くコーナーリングスピードが遅かったです。まだ限界には余裕がありそうなので、2車線道路には慣れが必要だと感じました。



SS4 3:36.0 (+4.0)

前半の2車線道路で限界が把握できておらず、全体的にブレーキが甘かったです。シケインの減速も手前すぎました。アクセルオンが早く、出口でアンダーが出てしまいました。3RLシャープのコーナーは2速で行くと立ち上がりもたつため、1速に入れた方が良かったです。

SS5 49.0 (+1.9)

ターンはまずまずでした。ただ、それ以外の箇所で減速しすぎており、コーナーリングスピードが遅い印象でした。スタートしてすぐの3L into 3Lのコーナーでは、もう少しブレーキ開始地点を遅らせてV字のように駆け抜けた方が良かったと思います。ターン後、パイロンを左から侵入して抜ける際にブレーキで減速しましたが、ライン取りによっては減速せずに抜けられた可能性がありました。舗装からグラベルに変わる3L程度のコーナーも、1速まで落とさず2速で行けたと思います。

SS6 7:13.1 (+2.5)

スタートからミスがありました。クラッチを繋いだ瞬間に回転数が落ちすぎています。タイト3Lのブレーキングはもう半車ほど我慢できたと思います。その次のコーナーがand 2Rでスピードが落ちすぎており、2速ではもたつため1速に入れた方が良かったです。泥、苔、砂などは必ずペースノートに入れる必要があります。また、ペースノートのコーナーアングルももう少し正確にした方が良いでしょう。ショーティッシュコーナーの必要減速量を理解しておく必要があります。ストレートからの2のコーナーのブレーキングも早かったです。

SS7 5:32.1 (+3.0)

またスタートミスがあり、回転数が落ち込みました。勾配のある場所のマッドは非常にスリッピーでした。ブレーキはSS3の時と比べて、だいぶ奥まで我慢できるようになっていました。2車線道路の走り方がまだ分かっていない印象です。まだスピードには余裕があり、全体的に

SS8 3:28.2 (+1.6)

スタートはまずまずでした。シケインへの飛び込みはブレーキングが早い印象がありますが、路面状況の見極めは必要です。2車線道路の走り方はまだ慣れが必要だと感じました。また、ストレート途中にあるバンプをアクセルを抜いて行くべきか、全開で行けるのかは判断が難しいです。3Rシャープかつ上りのコーナーは2速だと立ち上がらないため、ギア選択を見直す必要があります。Rヘアピンでは砂が出ており、出口で滑って

SS9 48.2 (+1.4)

全体的にはそれほど悪くはありませんでした。ターンはもう少し練習が必要です。

Good points (良かった点)

- ・ ステージが進むにつれて路面のグリップレベルを理解できるようになり、ブレーキングを遅らせられる場面が増えた。DAY1前半と比較してステージタイムの改善が見られた。
- ・ ターンが必要なステージでは大きなミスなく処理でき、比較的安定したドライビングができていた。
- ・ SS9では全体的に安定した走りで、大きなミスなくステージを完走することができた。
- ・ スピンや大きなコースオフは少なく、全体として大きなトラブルなくラリーを終えることができた。

Bad points (改善点)

- ・ スタート時にエンジン回転数を落としすぎるミスが何度かあり、加速が遅れてしまった。
- ・ 多くの場所でブレーキングが早すぎ、必要以上に減速してしまいタイムロスにつながった。
- ・ ショート気味の2コーナーや中速(3~4)のコーナーで必要以上に速度を落としてしまい、コーナリングスピードが低くなっていた。
- ・ ギア選択が適切でない場面があり、タイトコーナーで本来1速を使うべきところを2速や3速で走行してしまい、立ち上がりの加速が悪くなっていた。
- ・ ブレーキとアクセルを同時に操作してしまいエンジン制御が作動し、速度低下とタイムロスが発生した。
- ・ 2車線の高速セクションへの慣れが不足しており、必要以上に安全マージンを取ってコーナーを走ってしまう場面が多かった。
- ・ ペースノートに路面状況(泥、苔、砂、バンプなど)の細かい情報が不足しており、跳ねやグリップ低下を事前に予測しにくかった。
- ・ コースレイアウトを覚えていたことでドライビングに意識が集中しすぎ、ペースノートを十分に聞けていない区間があった。
- ・ グラベル路面の感覚を完全には掴めておらず、全体的なタイムロスにつながった。
- ・ グラベルステージでパイロンに接触し、5秒のペナルティを受けた。
- ・ DAY1終了時に1分の早着ペナルティが発生した。



DAY2

SS10 3:02.8 (+5.7)

出口が巻き込んでいるコーナーでアクセルを踏むのが早く、アンダーが出てしまいました。ハイスピード時の5~6程度の緩いコーナーでもスピードを落とすすぎていました。

SS11 1:55.6 (+5.6)

サイドブレーキが効きませんでした。ステアリングを切ってからサイドを引く必要があります。要練習です。全体的に路面が良いため、ブレーキはもう少し奥まで我慢できたと思います。

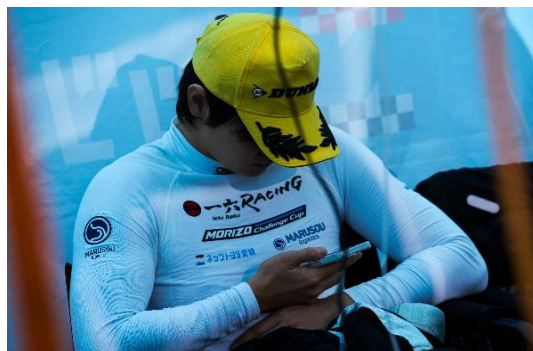
SS12 5:43.8 (+17.3)

路面が急に下がる急勾配ではブレーキに注意が必要です。前荷重になりやすく、リヤが不安定になります。ハイスピードコーナーは課題で、減速しすぎていました。手前の緩いコーナーからきついコーナーになる場合は、間の距離感を意識してどこでブレーキを始めれば減速が間に合うかを身につける必要があります。

また、手前のコーナーの進入なのか、クリップなのか、出口なのかを意識する必要があります。2車線道路では限界が分からず、減速しすぎているコーナーが多々ありました。ロックを恐れてブレーキの初期踏力が弱く、減速が緩やかでブレーキを踏んでいる時間が長くなっています。プースターあり・ABSなしのため、ストレートからのフルブレーキではロックに注意が必要です。シフトも3速に上げるか、2速のままレブを当てるかの判断が必要です

SS13 44.0 (+3.3)

オーバースピードでクリップから大きく離れてしまいました。ターンもまだ慣れが必要です。



SS14 3:00.3 (+4.5)

全体的に悪くはなさそうですが、細かなロスが積み重なりトップ選手とのタイム差につながっていると感じました。少しの減速や、アクセルを踏むのが早くアンダーになってしまうこと、ステアリング操作の丁寧さ、ブレーキングポイントなど、わずかな違いが最終的なタイム差になっていると思います。

SS15 1:53.0 (+5.3)

サイドブレーキが使えないことによるロス、そしてABSがないことによりロックした際のロスがありました。また、もう少し進入スピードを上げられるコーナーの路面見極めも課題です。ABSがないため、ロックを恐れてブレーキングが甘くなっています。

SS16 5:34.3 (+12.6)

全体的にブレーキが早く、なおかつ長いいためコーナーリングスピードが遅くなっていました。

Good points (良かった点)

- ・ 全体を通して大きなミスや大きなコースオフはなく、安定したドライビングでステージを走り切ることができた。
- ・ 路面状況を考慮し、勾配や路面の変化にも注意を払いながら走行できていた。
- ・ ステージを通して大きなミスは少なく、全体的に比較的安定したドライビングができていた。
- ・ ターンは大きな問題なく処理できていたが、精度の面ではまだ改善の余地がある。

Bad points (改善点)

- ・ 一部のコーナーでコーナー出口のアクセルオンが早すぎ、アンダーステアが発生してラインが外側に膨らんでしまった。
- ・ 高速区間、特に中高速コーナー(5~6程度)では速度を落としすぎており、コーナーリングスピードが低くなっていた。
- ・ ハンドブレーキの効きや使用タイミングが十分ではなく、ターンでタイムロスが発生した。さらなる練習が必要。
- ・ グリップの良い区間でも、さらにブレーキングを遅らせられるコーナーがあったが、減速を早く開始してしまいタイムロスにつながった。
- ・ 急な下り区間ではフロントに荷重が乗りやすく、リアが不安定になりやすかったため、ブレーキングコントロールが難しかった。
- ・ 緩いコーナーからタイトコーナーへ続く区間では、距離感や適切なブレーキングポイントの判断が難しかった。
- ・ 2車線の高速区間ではまだ走行限界を十分に把握できておらず、多くのコーナーで必要以上に減速してしまった。
- ・ ホイールロックへの恐怖から初期のブレーキ圧が弱くなり、制動距離が長くなって効率的な減速ができていなかった。
- ・ ABSがないためホイールロックによるタイムロスが発生し、ロックを恐れてブレーキングが慎重になりすぎる場面もあった。
- ・ 一部のコーナーでは進入速度が高すぎてラインが外に膨らみ、理想的なクリップポイントを外してしまった。
- ・ ブレーキングポイント、アクセルタイミング、ステアリング精度などの小さなロスが積み重なり、トップドライバーとのタイム差につながった。
- ・ 全体的にブレーキングが早く長くなりがちで、その結果コーナーリングスピードが低下していた。

車セッティング

・車のセットアップは悪くありませんでした。ただ、サイドブレーキが全く効かないというのが問題点です。サービスの際にもエンジニア伝えましたが改善は見られず、今はまだ原因不明です。次戦までにブレーキ周りをばらして、ブレーキシューも交換予定です。

・DAY2では、2つ目のSSからABS故障というメッセージが表示されるようになりABSは全く使えない状態となりました。トラクションコントロールも切れなくなってしまい、スタートの際にエンジン回転数が4000回転以上上がらず加速がもたつくこともありました。サービスでも原因はわからず1日通してABSが故障した状態で走ることになりました。トラクションコントロールを切るために整備モードに入れて走りました。

ラリーを戦う上でサービスクルーの支えは欠かせません。厳しいスケジュールの中でマシンを準備してくれたエンジニアの皆に感謝します。



総括

今回のラリー三河湾では、思うようにタイムを伸ばせない場面もありましたが、走りの中で多くの課題と手応えを得ることができました。今回感じた課題をしっかりと整理し、次戦に向けて改善していきたいと思います。

また、厳しいコンディションの中でマシンを支えてくれたエンジニアの皆、コドラの相原さんには本当に感謝しています。皆の支えがあってこそ最後まで走り切ることができます。

そして、現地で応援してくださった方々や、SNS等を通じて応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

次戦では今回の経験を必ず活かし、さらに良い走りをお見せできるようチーム一丸となって挑戦します。

